

事業所名

ぼっぷこーん

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

令和6年

11月

1日

法人（事業所）理念	一般社団法人神戸市手をつなぐ育成会（以下「育成会」という）が設置する ぼっぷこーん（以下、「事業所」という。）において実施する指定放課後等デイサービスに係る指定通所支援（以下、「指定放課後等デイサービス」という。）の適正な運営を確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定放課後等デイサービスの円滑な運営管理を図るとともに、障害児及び通所決定保護者の意志及び人格を尊重し、障害児及び通所決定保護者の立場に立った適切な指定放課後等デイサービスの提供を確保することを目的とする。					
支援方針	事業所は、障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 指定放課後等デイサービスの実施に当たっては、地域との結び付きを重視し、通所決定保護者（以下、「保護者」という。）の所在する市町村、その他の指定通所支援事業者、指定障害福祉サービス事業者、その他福祉サービス又は、保健医療サービスを提供する者との密接な連携に努めるものとする。 児童福祉法及び関係法令等を遵守し、事業を運営するものとする。					
営業時間	10時	0分	19時	0分	送迎実施の有無	あり なし
支援内容						
本人支援	健康・生活	・毎日の検温・手洗い・うがいの慣行 ・おやつ、食事後のはみがきの実施 ・食育（月2回のひるごはん、お菓子づくり）実際自分で作って食べるを通して苦手なものへの克服や達成感を味わう。 ・日常生活の動作、着替えやトイレ、食事等、ひとりひとりに合った支援を行う。				
	運動・感覚	・週2回、運動の先生と一緒に体を動かす機会を通し、バランス感覚や姿勢などの機能向上を目指す。 ・工作などから得る感覚（ハサミで切る、紙粘土の感触、みずのり、テープをちぎるなど）をひとりひとりに合った支援を通して知ってもらう。 ・音楽プログラムを月に2回、音楽の先生と音楽を通して、リズム感覚、視覚、聴覚など様々な感覚を体感し心地よさを体感できる場所を目指す。 ・室内が広く、野球やキャッチボール、バドミントン、フリスビーなど体を動かし道具を使つての運動が出来、体の動かし方、操作の仕方を学べるように支援を行う。				
	認知・行動	・1日の流れをわかりやすく個人ごと、全体の2つで提示。 ・一緒に学習する職員も記名し誰と学習ができるかわかりやすく提示。 ・ゲームや手伝いを通し数への概念を養う。				
	言語コミュニケーション	・おわりの会での点呼で返事や今日の楽しかったこと、いやだったこと、様々なこどもの気持ちの表出の場としている。 ・家族や関係機関と連携し、こどもひとりひとりに合った形を見つけ出し、コミュニケーションが円滑に取れるように支援を行う。				
	人間関係社会性	・挨拶、ルール、マナーなどその場に合った行動が出来るように事前に確認したり、日頃からゲームやおわりの会などで取り入れ日常的に身につけられるよう支援を行う。 ・自己の気持ち他者の気持ちなどを考える場を設けます。 ・自己の感情コントロール、感情発散ができるように支援を行う。				
家族支援	各ご家庭ごとに関係機関とともに支援をしていきます。			移行支援	複数の事業所を利用している場合、必要に応じて他事業所と連絡を取り合い、相互的な支援を行うようにします。	
地域支援・地域連携	自立支援協議会のこども部会への参加。情報交換をし支援につなげます。同建物内の施設（成人）との交流			職員の質の向上	勉強会・研修への参加	
主な行事等	・春、夏休みの外出行事 ・BBQ ・花見 ・宝探し ・夏プール ・工場見学 ・社会科見学（公共の建物での見学等） ・誕生日会 ・お菓子づくり ・お昼ご飯づくり					